

(IV) この方法は Psychotherapy といわれる一般的なものの実施方法よりいくつかの利点をもっているものであること。

(V) この指導法の実施期間として最も適切で且つ効果ある期間は入学当初から六か月ないし九か月の期間であること。

(VI) このプログラムは小学校の、ことに入学当初から六か月ないし九か月にわたつての教育形態としてカリキュラムのうちに正常な位置を占めておこなわれるべきものであること。

## 父親の幼児養育

### 関与度に関する階層的研究

愛育研究所 高橋種昭

目的 今回の調査は現在のわが国の社会的諸階層において、父親たちが幼児の養育に、どのような型で、どの程度に関与しているかという事実の機能的な面から取り上げ、それらのもと社会的階層との間の関係を明らかにしようとするものである。

方法 調査の対象には都内の保育園、幼稚園に通園する三才就学前までの児童の父親を対象にした。人数は保育園関係ケース一七二名幼稚園関係ケース一二名、計二九二名である。調査の方法としては、父親の幼児の教育において果していると考えられる機能を、養育、食事、遊び、教育、衛生、宗教の六つに分類し、各機能ごとに三々四項目の質問項目を設け、四段階に評定するような質問紙を家庭に配布し、両親に記入させた。

結果 調査の結果、次のような傾向がみられた。「食事」については給料生活者が最も高く直接的、間接的に関与し

ている。「養育」についてもやはり給料生活者が最も高い関与度を示しているが、階層的にはむしろ低いものの方が高い傾向がみられる。「遊び」の場合には學歷、階層ともに高いものが関与する率が高く、単純労働に従事する父親は低い。「教育」においては専門的職業に従事する者や給料生活者に高く、學歷の低い者は低い。「衛生」の場合は自営商工業者のような階層に関与度の低い者がみられ、幼児の病氣や怪我に全く関与しないものが多い。「宗教」で目立つ事は、これまでの諸機能において常に低い関与度を示していた筋肉労働者の階層のものが逆に高く、學歷においても學歷が低くなればなるほど関与度は高くなる事実である。

### 母と子の関係（精神身体医学の立場より）

長野県保育専門学院 竹村計美

保育に際しては、環境条件が重大な影響を及ぼす。とくに母と子の関係は密接なものである。この場合、母と子の関係を精神身体医学の立場から、病氣を通じて、血流中の好酸球数をあしがかりとして調べてみた。

好酸球は白血球の一成分であり、副腎皮質ホルモンの一示標として、その多少、変動の様相より、好酸球数を調べることにより、生体か制機に反応する態度を知ることが出来る。

Stress に際して、すなわち、疫病、外傷、寒冷の変化、精神感動によって、生体の副腎皮質ホルモンの分泌が動員され、好酸球数に変化があらわれる。

幼児の急性疫病、（疫痢、自家中毒症）に際して、幼児と共にそ